



「優しさ」の違い

山川中学校 二年 福永 莉子

小学生の時にあるドラマを見ました。視界の明暗はわかるけれど、ハッキリと物を見ることが難しい女の子の話。私はそのドラマを見て、その女の子を「かわいそう」と思ったことがありました。

私は思います。病気の人が、障がいをもっている人だけに対しての特別扱いを嫌う人がいます。みんな人のために「全ての人のため」「みんなに優しい」という意味をもって作られたのが「ユニバーサルデザイン」です。

世の中には「音のない静かな生活をしている人」「視界が暗い中生活する人」「自分の体を思うように動かすことが困難な人」「言葉だけでは全てを理解することが難しい人」など、いろいろな事情を抱えている人がいます。皆さんは、病気の人が障がいをもっている人を見かけると「かわいそう」などと思ってしまうか。バスや電車で席を譲るとき、声をかけて手伝っているとき、良いことだと思っ

てしている行動の根底にある意識は、相手のことを自分より下に見ていないかということです。思いやりや気遣いは、他の人から見ると別のものに見えるかもしれない。自分の親切を人に押し付けられるのは「優しさ」とは言えないと思います。

【先生のコメント】 「ユニバーサルデザイン」や「バリアフリー」といった言葉は、私たちの日常に定着しているように思えますが、私たちの意識はどうでしょうか。障がいのある人は「かわいそう」だから、「助けてやらな」といいたくない。どこかにそういう考えがないでしょうか。福永さんは、自分の中にもそういう考えがあるのでは…と振り返り、「健常者」であろうと障がいがあるとう「二個の人間」だという当たり前のことを再認識したようです。今年、彼女にとって「特別な夏」となりましたね。

みんなの幸せ願って

「本当の優しさ」というのは難しいもので、いろいろな考えがあると思います。でも、全ての人の個性を二つ二つ尊重し、特別扱いではなく誰とでも対等に、相手を自分より下において考えることをやめて行動すること、これが「本当の優しさ」だと私は考えます。

【繋がる輪】 保育士の傍ら、僧侶としてのお勤めもしている稗田さん。また、地域との更なる関わりを求めて、消防団にも加入した。



人権擁護委員による人権相談(無料) ひとりで悩んでいませんか?

【特設人権相談所】

- 日時 10月16日(水)午後1時～4時
場所 みやま市立図書館
相談内容 いじめ、体罰、部落差別、女性差別、外国人差別、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)、借地借家、隣間のめんどことや悩みごとなど

【女性相談所】

- 日時 10月10日(木)午前10時～午後3時
場所 福岡法務局柳川支局
相談内容 原則として女性からの相談(夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクハラ、パワハラおよびストーカー行為など)
※女性の人権擁護委員が相談に応じます。

【常設人権相談所】

- 時間 午前8時30分～午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
場所 福岡法務局柳川支局
相談担当者 法務局職員、人権擁護委員
相談電話番号(TEL)0570-003-110
福岡法務局柳川支局(TEL)72-2640

みやまに生きる人 vol.162

保育士 稗田 大智さん

年中・年長組を担当する保育士として、12人の子どもの保育にあたる稗田さん。ピアノを弾いて歌の練習をしたり、送迎バスの運転をしたりしている。

【子どもたちの姿を発信】

園では、自然の中で生き生きと過ごしてほしいという思いから、田植えやたけのこ掘り、川遊びや雪遊びなど、自然との関わりを大事にしているという。その中で、子どもたちのありのままの姿を多くの人に見てほしいと思い、稗田さんは6年前にSNSの発信を始めた。

「当初は不安だという保護者の声もありましたが、今ではおじいちゃんおばあちゃんたちからも『〇〇見たよー』などと声をかけていただきます。写真だから

こそ伝わるものがあると思うので、喜んでいただき、始めてよかったです。」

【繋がる輪】

「団では、他業種の方や他地域の方とも知り合うことができ、自分自身のコミュニティが広がりました。また、自分を知ってもらうことが園を知ってもらうことにも繋がったので、入団してよかったと思います。」

【地域に愛される「コミュニティの場へ】

地域には一人暮らしの人も多く、お参りで訪問した際には楽しそうに話してくれるという。

「子どもも大人も、人との関わりが少なくなってきましたが、会って話してこそ楽しさや信頼関係があると思います。そこで、集えるきっかけを作りたいと思います。3年前からはお寺でのイベントも始めました。近寄りやすいと思われがちな場所ですが、誰もが気軽に立ち寄れる地域コミュニティの場にできるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。」



ひえだ だいち 瀬高町出身。幼い頃から通っていた伯父のお寺で、保育士兼僧侶として奮闘している。

【好きな言葉】 「現状維持は衰退のはじまり」 過去にとらわれず、チャレンジし、前に進むことを大切にしています。

みやま文芸

青門 瀬高俳句会

- 広島忌へ平和行進せしことも 吉岡 木骨
地のほたり鎮め咲きつく百日紅 池田 芳水
虫の音を聞き分けながら寝落ちけり 高巢 幸子
塀越えし無断侵入やぶ枯らし 阿部 和子
ばっさり庭師残暑を切り落とす 戸塚 貴美代
賑わいし来し方想う地藏盆 橋本 美恵子
明日は早立リュックに詰める秋灯 河野 辰男

みやま短歌会

- あるがまま心豊かな余生をと 中村 智美
思えど予期せぬことに湧く煩惱
蘭愛でし夫逝きしより水やりの 三栗野 ミユキ
加減わからず病む葉の見ゆる
開け放ちま空に天の息吹なる 宮地 幸二郎
このひと時をわがものとして

有ればこそ不自由知らぬわが五体

パラリンピックの水泳を見る

宮本 明生

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。